

## 令和6年度 第2回 大阪市立磯路小学校 学校協議会 実施報告書

校園名 大阪市立磯路小学校  
校園長名 糸井 利則

日 時	令和6年11月27日(水) 午後6時30分～7時30分	
場 所	大阪市立磯路小学校内 教育相談室	
出席者	委員など	5名
	校園	2名
	区役所	1名
議題	・運営に関する計画 中間評価 ・全国学力・学習状況調査	
協議要旨	協議の結果	意見の概要
	○安心・安全な教育の推進について ・各取組を継続していく。 ・児童アンケートの各質問に対して肯定的回答割合が高いものが多いが、少數とはいえた否定的回答の児童もいる。それらの児童が、安心安全、また楽しく学校生活を送ることができるように取組を進める。	・いじめや不登校について →いじめや不登校は、教職員の普段からの観察、いじめアンケート等により、早期発見、早期対応により重篤ないじめにならないよう全教職員が務めている。また、「心の天気」の活用もすすめることで、児童の心の動きも確認するようにしている。また、家庭で大事にされることが必要とのご意見をいただいた。
	○未来を切り拓くための学力・体力の向上について ・今年度は、「港区教員研究発表会」および「小学校教育研究会総合研究発表会」国際理解教育部の研究発表校である。2年間の本校研究の成果を区全体および全市に向けて発表する予定である。 ・学力の向上について、今後も研修や公開授業を継続して行っていく。 ・引き続き取組を進めていく。	・磯路小学校の研究や学力について →国際理解教育についての研究は、今年度で2年目である。研究主題を「互いの人権を尊重し、地球上の人々と共に生きる子どもを育てる～対話で育むウェルビーイングな子どもたち～」として進めていることにご理解いただいた。 ・平和学習への取組について、家庭で話題に上がっているとの声があり、成果を感じる。
○学びを支える教育環境の充実 ・各取組を継続していく。	・働き方改革についてはどのようにすすんでいるのか。 →教職員に協力してもらっているという感謝を伝えていただいた。また、教職員が心のリフレッシュをして休めるときには休んで	

		ほしいとの意見もいただいた。 ・今後も子ども達と向き合う時間を確保するために取組を進めていくことに賛同いただいた。
協議 資料		・運営に関する計画 中間評価 ・全国学力学習状況調査の結果と分析
備考	傍聴者[ 0 ]名	

校園長名 糸井 利則